



# 2017 合同教育研究全道集会

発行:2017 合研実行委員会事務局

## 教育の大切さ、怖さ考えて 「国民が真実を知るために」

「教育の夕べ」講演 齋藤貴男さん

200人の参加で朝から行われたテーマ別討論に続き、午後からは24の分科会に分かれての討議が行われた2017合同教研1日目。夕刻からはジャーナリスト齋藤貴男氏を招いての「教育の夕べ」がひらかれました。

「9割方の情報は隠されている」そう考えた方が良い。いつの時代も国民が大事な真実から遠ざけられてきたのは同じかもしれないが、今は極端なまでに情報にフィルターがかけられ本当のことが伝えられない時代になった、そんな気がする。

端的に表れたのはこの前の選挙。北朝鮮のミサイル発射映像がどれだけくり返し流されただろう。北朝鮮への憎悪と恐怖感があおられ、その一方で「国民の安全を守る政府」という宣伝がおこなわれた。

まるで戦時中の「防空訓練」のようなJアラートとミサイル報道だが、さきの戦争に向かう時代、「防空大演習を啜う」という論説で防空訓練の無意味さを説き、信濃毎日新聞社を退社に追いこまれた桐生悠々さんを思えば、今の報道は戦前のそれにも劣るということにもなる。そう考えれば今回の選挙結果はマスコミのそのような報道によるものともいえる。

こういう報道が続けばどうなるか。憲法は変えられ、戦争する国になるだろう。「歯止め」になってきた憲法が変えられれば、アメリカの家来としてアジア、アフリカ、中東の国々でアメリカが行う戦争に加わることになる。首都圏におかれたアメリカの陸海空軍司令部と自衛隊はすでに一体化していて、「9条のしぼり」がとけるのを待つだけになっていることを知るべきだ。



### 「夕べ」アンケートから

- 時間を忘れて聞いていました。もっと聞きたかった！
- 心の中にあった「たぶん・・・」、でも、そうではない事を願っていた事実(真実)が次々と話された。ショックだったがスッキリもした。今後は広げて行こうと思う。
- 北朝鮮がなぜ核開発をするのか、その理由が初めてわかりました。日本のマスコミの現状がある程度わかった。
- 自分が考えてきたこと、大切にしてきたことがすべてないがしろにされている。周りには意見を言わず、決まったこと、声の大きい人にただ黙ってしたがうだけ(その方が時間が早く終わるから)こんな状態で息が詰まりそうです。
- 「知ったかぶりをせず、思い込まず、知る努力や学び続けることが真実をつかむ」に、勇気をもらいました。目と心が開かれた思いです。

自民党改憲草案では9条だけでなく21条の「改正」も盛り込まれている。「集会、結社及び言論、出版その他表現の自由は、これを保障する」の1項に続いて「前項の規定にかかわらず、公益及び公の秩序を害することを目的とした活動を行い、並びにそれを目的として結社をすることは認められない」と2項が加えられるというのが自民党の改憲草案だ。もはや言論・表現の自由などない。真実を知りたいと一所懸命新聞を読



んでも国民は政府に「操られ」「しつけられる」だけにされかねない。

こんな時代、「流されてしまう」生き方の方が楽かもしれない。でも人間として生まれてそれはいやだと考える人もいるだろう。いやだという人はどうすれば良いのだろう。

まず、知ろうとすること。「ネットだけにたよる」のはやめることを言いたい。そして「聞く」こと、「話す」こと。

ネットで流れになりやすい情報はどちらかというと「勢い」があり、感情的なものになりがち。判別しにくい真実を見きわめようといろんな角度から考えるものは長くなりがちで広がりにくい。でも、たくさんの報道や書物のなかから事実をつかむ「きっかけ」を見つけ、多面的に考える、その姿勢が必要と思う。

がんばっているジャーナリストはいるし、テレビにも素晴らしいドキュメンタリーもたくさんある。幅広いジャンルの人、身近な人との話のなかでたくさんの気づきが生まれる。本を読んだら読書会も悪くない。

真実をつかむためには「読んで、見て、語り合っ、考える」そういう生活スタイルが大切と言いたい。

「なぜなんだ」「本当はどうなんだろう」そう問い続ける姿勢がだいじ。もっと言うと「ネット右翼の逆」をすれば良いのかもしれない。

「ちょっと聞きかじって全部分かった」ような気になるって、それでは真実にたどりつけない。物事はいろんな角度から見ることができるし真実に近づくには努力が要る。

教育はとても重要な仕事であると同時に危険なものでもある。マスコミ同様その影響力は極めて大きいことを考えなければならない。私自身もジャーナリストとして「思い込み」「知ったかぶり」をやめ、真実を手に入れようと努力するけれど、その努力が大切と思う。「ウルトラ C」はないかもしれないけれど、そのなかからつかめたものを大切にしたい。先生たちにもがんばってほしい。

#### 【「タベ」アンケートから】

- ついつい聞いたことを「知ったかぶり」してしまう部分があることを再認識した。子どもたちに自分で考えることを進める教師として、正しいもの自分で見極めていけるよう、調べていきたいと感じた。
- マスコミの仕組みや危険性、そしてその中でも良心的にとりくんでいる記者の存在などを知ることができ、私たちも教育の世界で頑張っていかななくてはならないと勇気をもらいました。

#### 【テーマ討論・分科会】

- 様々な実践があり、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 学生の身分のうちに現場の教師の生の声を聞くことができ、大変勉強になった。自画像を描く授業でただの鏡を使わずにスプーンを使うことで空間の歪みを利用していることが興味深かった。
- 一日しか参加できないのでレポートを持ってこなかったが、また来ようと思う。

**若い2人の司会者の進行で、会場に優しい気持ちと一体感が広がりました。2日目もがんばりましょう!**